

「大造じいさんとガン」

椋 鳩十
むく はとじゅう

めあて

「大造じいさんとガン」を読んで感想を話し合い、学習することを決めよう。

大造じいさんの三十五、六さいころの話
ガンがりの話
場所は、栗野岳^{だけ}

大造じいさんは、なぜ残雪を助けたのだらう。
残雪は命をすてて仲間を助けるなんですかと思いました。
残雪は頭がいいんだなあと思った。

物語をしようかいする方法

- ・ブックカバー
- ・本の帯
- ・読書発表会
- ・ポスター
- ・新聞

ポップ

キャッチコピー
題名
作者
場面のしょうかい

自分のしょうかい文

ポップとは…本を買ってもらったための広告

分かりやすく、読みたくなるように書く

ポップに書く内容 題名、作者の名前

作者が伝えたいこと

(キャッチコピー)

場面のしょうかい

自分のしょうかい文

学習すること

作者の伝えたいことを知って、ポップでしようかいしよう。

- 1 / 9 時間目 指導略案 使用するワークシート…・資料
活動のねらい

初発の感想を交流させ、学習の課題を決めることができるようにする。

- 1 前書きから物語の設定を知り、初発の感想をもつ。

前書きを読んで、物語の設定を知る。

前書きから、物語は大造じいさんの若いころの話であること、ガンがりの話であることなど、場面の設定を押さえる。

「大造じいさんとガン」を読んで、疑問に思ったことや感動したことなどを視点に、初発の感想を書く。

- * 東京書籍五年下「大造じいさんとガン」には、前書きがありません。

- 2 感想を話し合い、学習の課題を決める。

自分の感想を発表する。

- * 児童の実態に合わせて、ペアやグループ内での交流を入れてもよいでしょう。

それぞれの感想の違いについて、意見交流をする。

紹介する方法を考える。

児童がこれまでに経験している紹介する言語活動をいくつか挙げ、今回はポップを作るという方法を知らせ、この方法で紹介することに意欲をもたせる。(ポップサンプルを提示する。)

- * ポップについては、本屋や学校図書館にあるものをイメージさせながら、ポップの効果や意味について考えさせるとよいでしょう。

ポップに書く内容を確認する。

「大造じいさんとガン」をポップで紹介するために、どんな内容を学習するのかを考えさせ、学習課題へとつなげていく。

評価 学習課題を決めるために、積極的に話し合いをしている。

- 3 次時は本時の学習を基に学習計画を立てることを知る。